

# 農業と科学

1990  
1

CHISSO-ASAHI FERTILIZER CO. LTD

## 「新しい時代に向って 思うこと」

チッソ旭肥料株式会社  
代表取締役副社長

和泉 明生

明けましておめでとうございます。年頭にあたり、皆様方のご多幸とますますのご発展をお祈りしますとともに、一言ご挨拶申し上げます。

昨年は世界中でいろいろの大事件がありました。中国の天安門事件、米ソのマルタ会談、東欧諸国の民主化、多党化等今後の世界の経済面にも大きく影響しそうな事柄ばかりです。国内でも、消費税の実施、自民党の参議院議員選挙における惨敗等大きな出来事があり、国の内外共1990年は新しい時代に入った感を強くしています。

国民経済としては、活発な民間設備投資や消費増大に支えられ、3年以上続く好景気で、総じて裕福な時代になっています。

しかし、この中において、我が国の農業をとりまく情勢は、まことに厳しいものがあり、農作物輸入自由化への外圧、農産物価格の低迷、農業の後継者不足等苦しい状況が続いています。

一方、私たち肥料業界では、昨年「肥料価格安定臨時措置法」が廃止になり、自由価格の新しい枠組みの中で、国際化の波にもさらされることになりました。これまでも、業界全体で設備の廃棄等合理化にとりくんでまいりましたが、さらに加えて、新しい時代に適合した肥料産業の構築が必要です。

私たちはこの厳しい現実に正面からとりくみ、競争の原理のもとに努力をして、品質、コスト、



省エネ化、省力化等において国際競争力のある技術レベルにする必要があります。

弊社には、長年蓄積した高機能肥料の技術があり、コーティング肥料の「ロング®」「LPコート®」は、年々我が

国のみならず世界で認められる商品へと成長しています。この他にも「CDU®」「燐硝安加里®」「旭ポーラス®」「与作®」、微生物資材「バイオマザー®」など特徴ある商品を多数上市しております。これからも、これ等に加える新技術ならびに新分野の探究を続けて、農家の方々とともに有効な農業資材を開発してゆく所存です。

発刊以来、皆様に親しまれてまいりましたこの「農業と科学」も新しい時代の要請に応えたものとすべく一層の努力をし、農業技術の発展にいささかでもお役にたちうればと念願しています。どうぞ今年も本誌をご愛顧いただきますとともに、ご執筆等を通じ、積極的なご意見、ご批判を頂き、充実したものに育てていただきますようお願いいたします。

皆様のご繁栄を心からお祈りして、新春のご挨拶といたします。

### 本号の内容

§ 「新しい時代に向って思うこと」……………(1)

チッソ旭肥料  
代表取締役副社長 和泉 明生

§ 作物の石灰吸収特性と  
被覆硝酸カルシウムの効果について……………(2)

愛知農業総合試験場  
園芸研究所環境研究室長 武井 昭夫

§ 被覆肥料に関する開発……………(6)

チッソ肥料研究所 藤田 利雄, 他